

S Y L L A B U S

授 業 内 容 ・ 計 画

対人援助研究所

授業科目名	スピリチュアルケア特論																
担 当 者	村田 久行																
実施日時	学期： 前期 ・後期・ 連続	土曜日	12:30～18:40 → 3隔週開講														
開 講 者	対人援助研究所	必選の別	科目等履修生は必修	対 象	科目等履修生、聴講生												
注意事項	修了には6回以上の出席が必要																
使用教室	Zoomによるオンライン研修																
<p>科 目 概 要：【スピリチュアルケア特論】</p> <p>前期の対人援助特論を基礎として、現象学的方法でスピリチュアルペインとそのケアを解明する。</p> <p>スピリチュアルケアは、従来、欧米において宗教的ケアの一環として特に終末期医療において実践されてきた援助であるが、近年、日本の医療においても宗教とは切り離して患者の「生きる意味を支える援助」として重要視されてきている。</p> <p>老い・病・障害・死といった人生の危機に遭遇したとき人間は生の無意味、アイデンティティ喪失、生の無価値などの苦痛(スピリチュアルペイン)を持つが、そのことは医療分野にかぎらない。スピリチュアルペインは福祉臨床、あるいは日常の社会においても満ち溢れている。このスピリチュアルペインの構造を人間存在の時間性・関係性・自律性の3次元から解明し、患者・クライアントの「生きる意味への援助」としてスピリチュアルケアの原理を明らかにする。</p> <p>スピリチュアルケアの具体的な方法については、患者・クライアントのスピリチュアルコーピングストラテジー(対処方策)に従い、スピリチュアルペインの察知とアセスメントの方法、プランニング、評価、カンファレンスの持ち方等を、事例を通して検討する。</p> <p>事例の検討はすべて現象学的方法論に基づき、ケアの原理である対人援助の関係性に焦点をあてて行うが、検討する内容は終末期がん患者とその家族へのスピリチュアルケア、大切な人を失った遺族の喪失・悲嘆と抑鬱へのスピリチュアルケア、福祉施設入所者や認知症高齢者のスピリチュアルペインとそのケア、現代日本の日常生活にみられる社会的象徴での人々のさまざまなスピリチュアルペインとそのケア等などである。</p>																	
<p>授業の進め方：毎回のテーマに従って、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受講生のレポート発表、資料／映像の提示 ②現象学と対人援助論の視点からの講義と解説 ③受講生と講師の質疑、討論という形をとる 																	
<p>課題と評価基準：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">毎回の小レポートと発表……</td> <td style="text-align: right;">8点×5回＝</td> <td style="text-align: right;">40点</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">発言と討議の自己評価……</td> <td style="text-align: right;">10点×2回＝</td> <td style="text-align: right;">20点</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">最終レポートと発表</td> <td style="text-align: right;">＝</td> <td style="text-align: right;">40点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">100点</td> </tr> </table>						毎回の小レポートと発表……	8点×5回＝	40点	発言と討議の自己評価……	10点×2回＝	20点	最終レポートと発表	＝	40点			100点
毎回の小レポートと発表……	8点×5回＝	40点															
発言と討議の自己評価……	10点×2回＝	20点															
最終レポートと発表	＝	40点															
		100点															
<p>教科書・参考書：</p> <p>〔指定テキスト〕…『現象学看護－せん妄』日本評論社、2014年</p> <p>〔参考書〕……………授業中に紹介します。</p>																	

2022年度用

回	テーマ	内 容	特 記 事 項
1 (10/1)	授業紹介 スピリチュアルケア①	<p><終末期医療でのスピリチュアルケア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピリチュアルケア研究の現状 ・スピリチュアルケア研究の方法論 現象学的方法 	12:30～18:40
2 (10/22)	スピリチュアルケア②	<ul style="list-style-type: none"> ・スピリチュアルペインの解明 (人間存在の時間性・関係性・自律性) ・スピリチュアルペイン解明への 現象学的方法 	12:30～18:40
3 (11/12)	スピリチュアルケア③	<ul style="list-style-type: none"> ・スピリチュアルケアの原理 事例からスピリチュアルコーピング を解説する 	12:30～18:40
4 (12/3)	認知症高齢者のスピリチュアルケア	<p><終末期医療以外の分野でのSPケア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦しみを和らげる認知症ケア ・認知症高齢者のスピリチュアルペイン とそのケア 	12:30～18:40
5 (12/24)	日常にあふれるスピリチュアルペインとケア(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の社会事象や事件にあふれている スピリチュアルペインを探索し分析する 	12:30～18:40
6 (1/14)	日常にあふれるスピリチュアルペインとケア(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の社会事象や事件にあふれている スピリチュアルペインをケアする方法を 考える 	12:30～18:40
7 (1/28)	スピリチュアルケア 発表と討論	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表と討論 ・最終レポート課題 	12:30～18:40